

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター  
所 長 長 嶺 和 弥  
( 公 印 省 略 )

### 病害虫発生予察技術情報について

平成 31 年度病害虫発生予察技術情報第3号を公表したので送付します。

### 平成 31 年度病害虫発生予察技術情報第3号

## マンゴーにおけるマンゴーハフクレタマバエの防除対策について

令和元年7月の沖縄県病害虫防除技術センターが行った調査の結果、沖縄本島では本種の発生株率は 68.3% ( 平年 18% ) ( 図1 ) 及び発生施設率は 100% ( 平年 41.9% ) 、宮古島市では発生株率 73.3% ( 平年 3.9% ) ( 図2 ) 及び発生施設率 100% ( 平年 26.5% ) 、石垣市では発生株率 7.2% ( 平年 28.0% ) ( 図3 ) 及び発生施設率 50% ( 平年 46.5% ) でした。また、発生程度が「平年よりやや多」が続いています。特に花芽のつく新梢を加害されると大きな減収となるため、被害拡大を防ぐためにも防除対策を徹底しましょう。

### 1 生態

- (1) 本種の幼虫はマンゴーの新葉～新梢部の軸までの柔らかい組織部内に潜行し食害する。寄生された葉には1.5～3.0mmの円形の虫こぶが形成される(図4)。幼虫が脱出した虫こぶは虫食いのような孔が形成される(図5)。
- (2) 高密度に寄生された葉は落葉が早まる。また、幼虫が虫こぶから脱出した後に炭そ病に感染する葉が多く、落葉が促進される。
- (3) 幼虫は体長約2mm。乳白色～橙黄色のウジ虫である。幼虫は成熟すると新梢を脱出し、跳びはね地面に落下し、地中で蛹化する(図6)。
- (4) 成虫は体長約 1.3～1.7mm。体色は明褐色、複眼部は黒色(図7)。

### 2 防除対策上注意すべき事項

- (1) 本種は発育が早いため、初期防除を徹底する。
- (2) ハウス外からの成虫の飛来を防ぐため、ハウスを防虫ネット(0.6mm)で覆う。
- (3) 被害が発生した新葉および新梢は直ちにせん定し、ハウス外に持ち出し処分する。
- (4) 黄色粘着トラップなどで早期発見に努める。

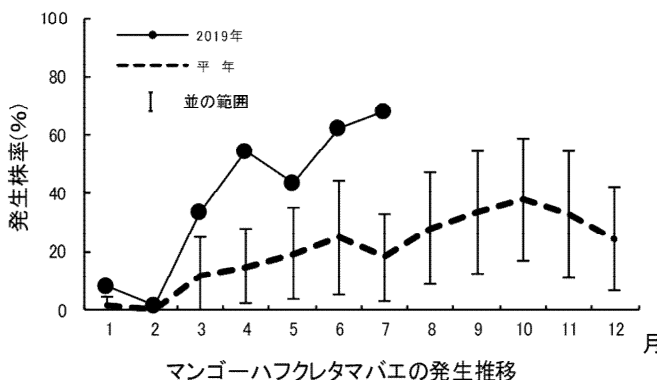


図1. 沖縄本島での本種の発生推移

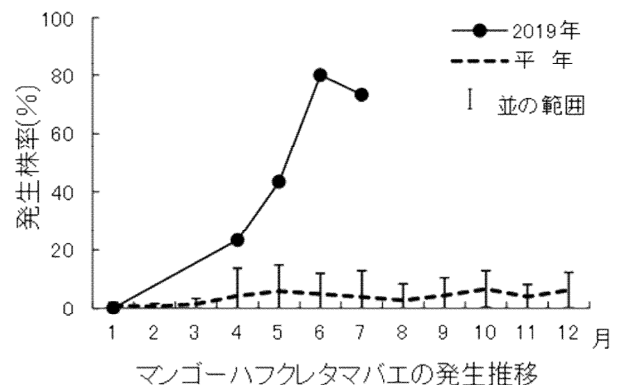


図2. 宮古島市での本種の発生推移

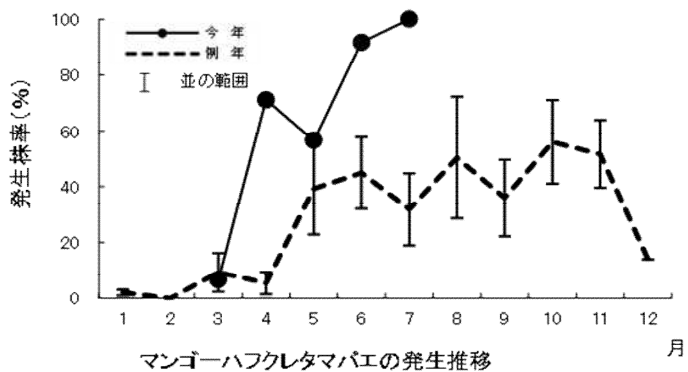


図3. 石垣市での本種の発生推移



図4. 新梢での被害



図5. 幼虫が脱出した後の葉の様子



図6. 葉から脱出する幼虫



図7. 成虫

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★  
 TEL : (本所) 098-886-3880、(宮古駐在) 0980-73-2634、(八重山駐在) 0980-82-4933  
 ホームページアドレス : <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>